

株式会社ユニカフェ(東証一部:2597)

平成27年3月期

決算説明資料

自 平成26年4月1日  
至 平成27年3月31日

- I. 外部環境 ..... 3
- II. 平成27年3月期 決算概況 ..... 7
- III. 平成27年3月期 決算詳細 ..... 11
- IV. 平成28年3月期 事業計画 ..... 15



# I. 外部環境



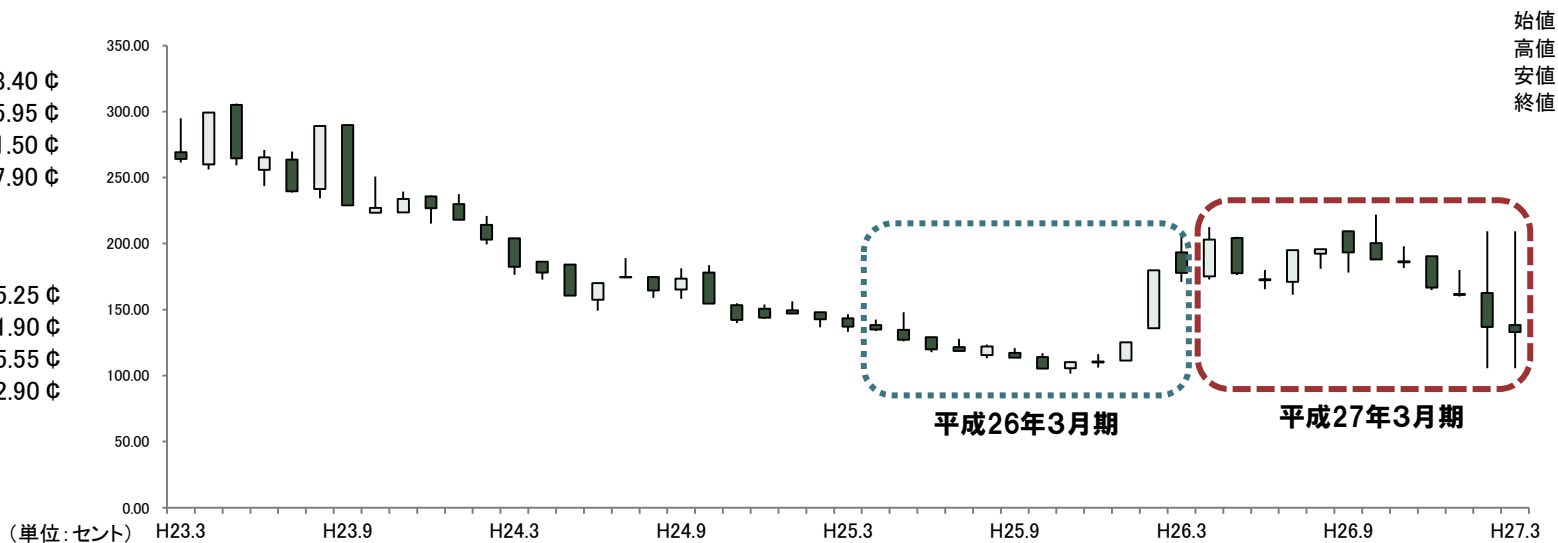
## NYコーヒー相場(¢/ポンド)

## ●平成26年3月期

始値 138.40 ¢  
 高値 205.95 ¢  
 安値 101.50 ¢  
 終値 177.90 ¢

## ●平成27年3月期

始値 175.25 ¢  
 高値 221.90 ¢  
 安値 105.55 ¢  
 終値 132.90 ¢



始値  
高値  
安値  
終値

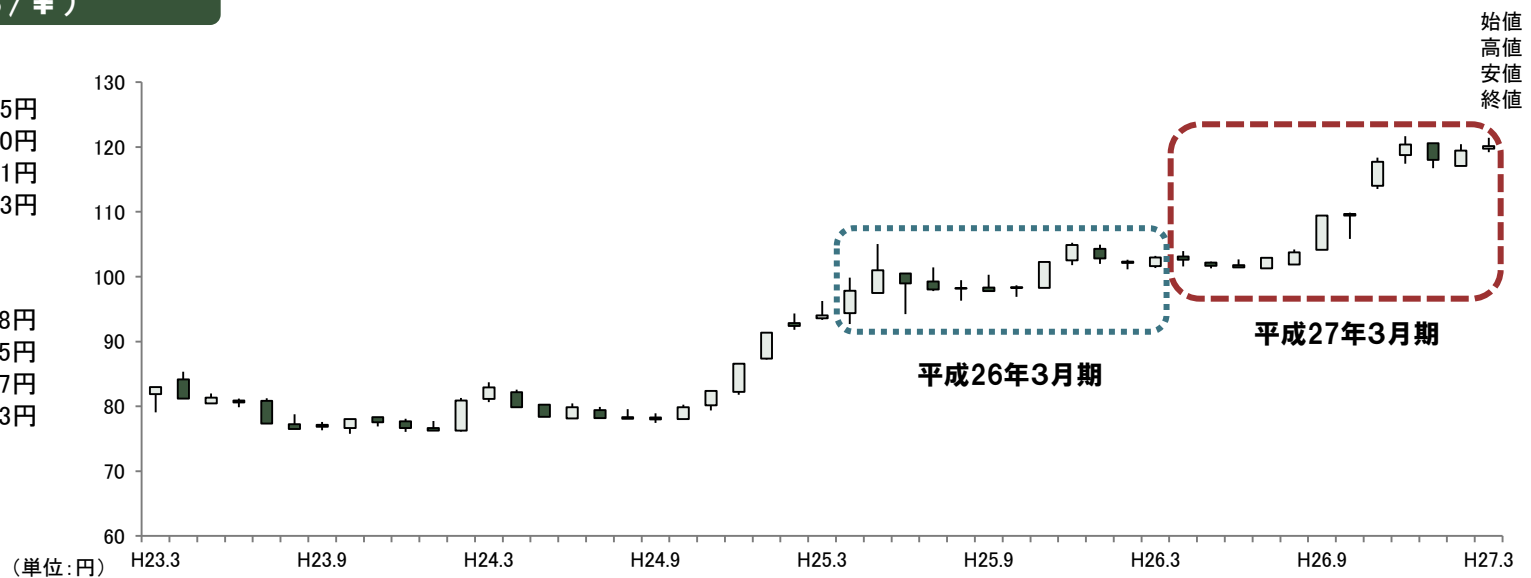
## 為替相場(\$/¥)

## ●平成26年3月期

始値 94.35円  
 高値 105.20円  
 安値 92.71円  
 終値 102.93円

## ●平成27年3月期

始値 103.08円  
 高値 121.65円  
 安値 101.27円  
 終値 120.13円



始値  
高値  
安値  
終値

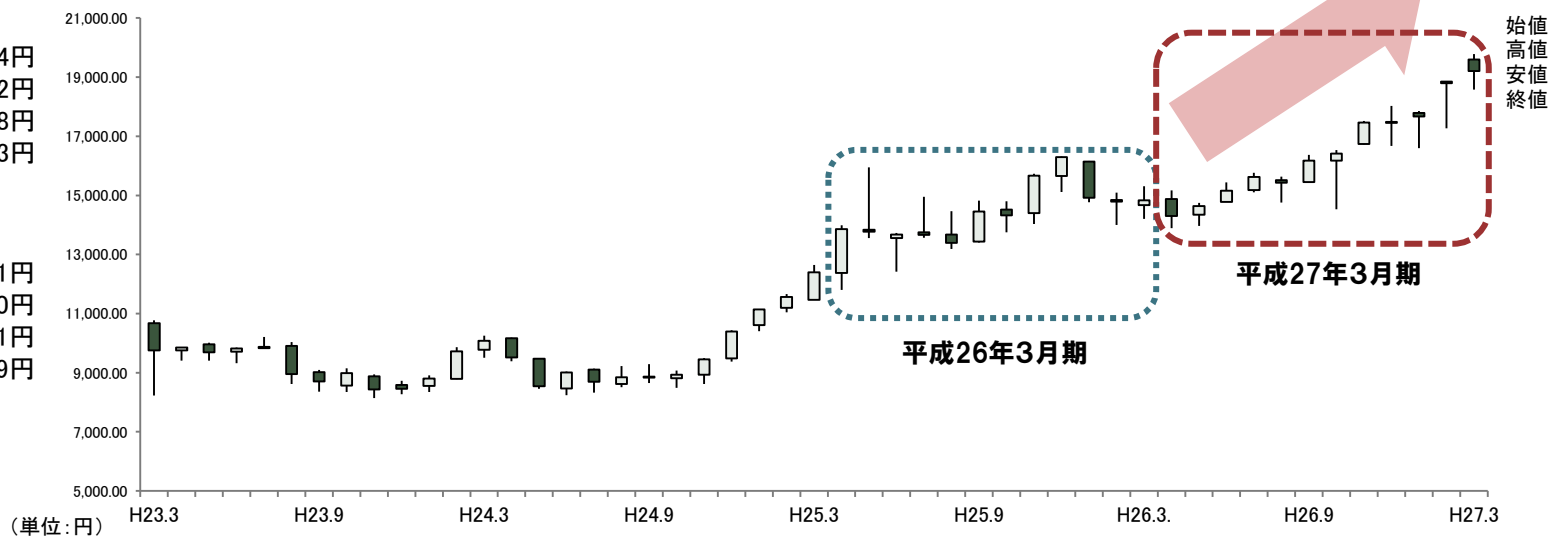
## 日経平均

### ●平成26年3月期

始値 12,371.34円  
 高値 16,320.22円  
 安値 11,805.78円  
 終値 14,827.83円

### ●平成27年3月期

始値 14,870.51円  
 高値 19,778.60円  
 安値 13,885.11円  
 終値 19,206.99円



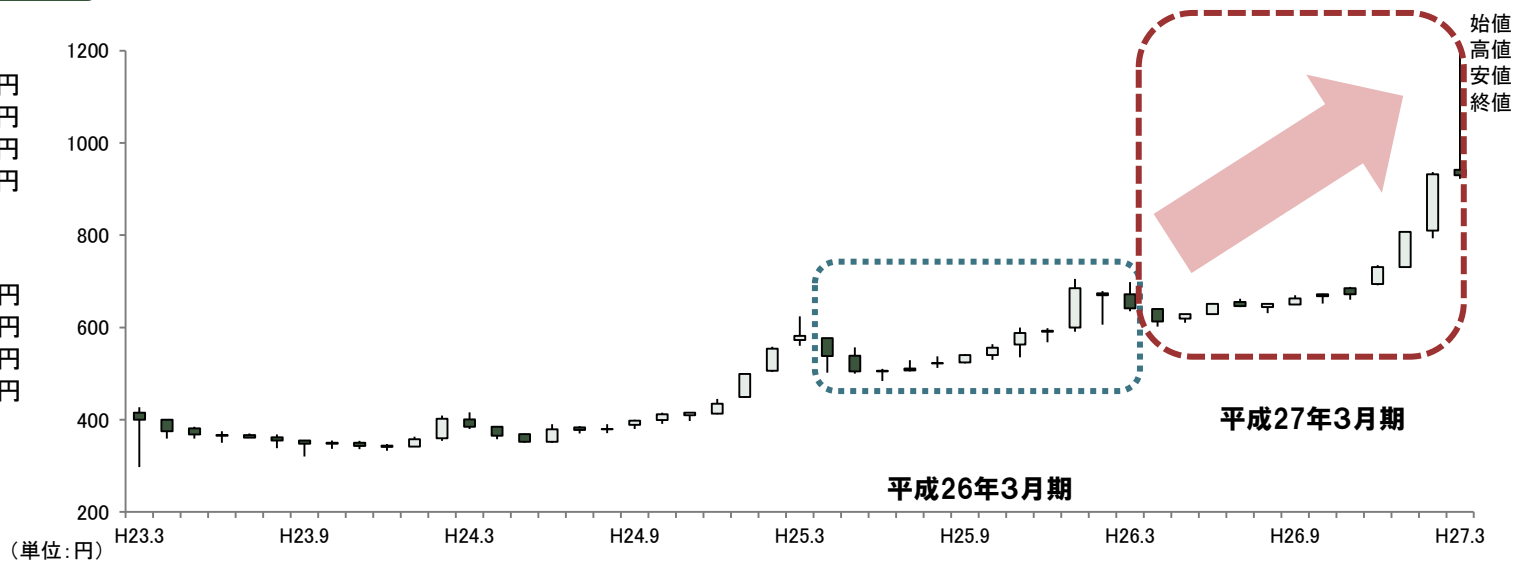
## ユニカフェ

### ●平成26年3月期

始値 577円  
 高値 698円  
 安値 484円  
 終値 641円

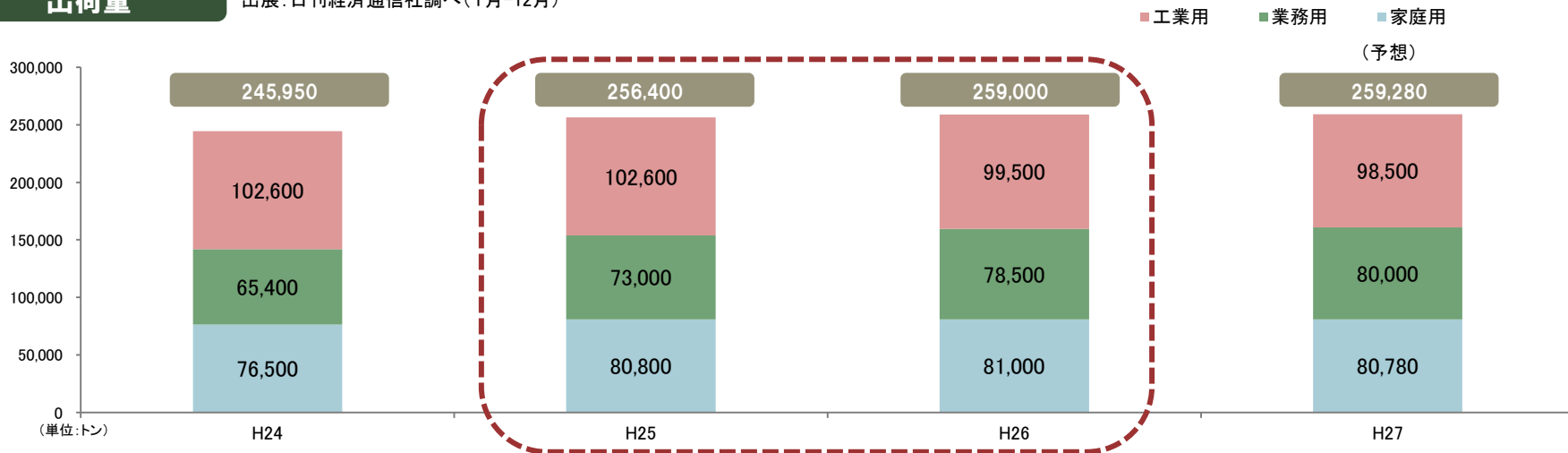
### ●平成27年3月期

始値 640円  
 高値 1,240円  
 安値 602円  
 終値 930円



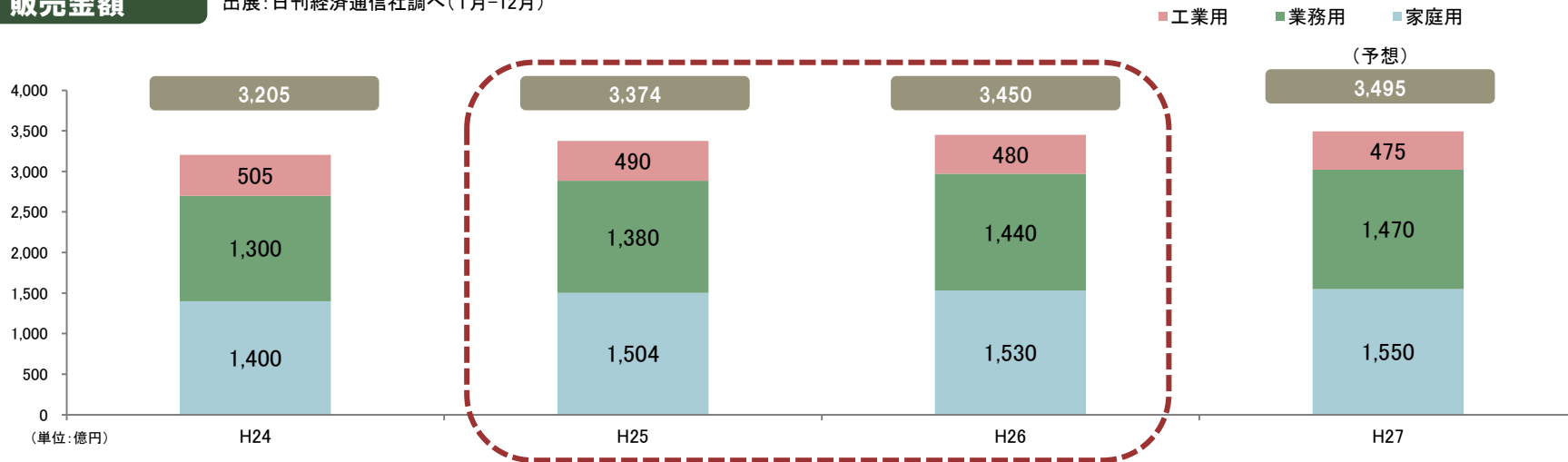
## 出荷量

出展: 日刊経済通信社調べ(1月-12月)



## 販売金額

出展: 日刊経済通信社調べ(1月-12月)



平成25年と平成26年の市場動向対比(当社調べ)

- 工業用 出荷量: 3.0ポイント低下      販売金額: 2.0ポイント低下      1kgあたり販売金額: 478円⇒ 482円
- 業務用 出荷量: 7.5ポイント上昇      販売金額: 4.3ポイント上昇      1kgあたり販売金額: 1,890円⇒ 1,834円
- 家庭用 出荷量: 横ばい                      販売金額: 1.7ポイント上昇      1kgあたり販売金額: 1,861円⇒ 1,889円



## II. 平成27年3月期 決算概況



(単位:千円)

		平成26年3月期	平成27年3月期	増減額	増減率
資産の部	流動資産	4,873,487	5,021,513	148,025	3.0%
	固定資産	5,303,653	5,082,201	△221,451	△4.2%
資産合計		10,177,140	10,103,714	△73,426	△0.7%
負債の部	流動負債	3,040,125	2,648,462	△391,663	△12.9%
	固定負債	74,450	79,486	5,036	6.8%
	負債合計	3,114,575	2,727,948	△386,627	△12.4%
純資産の部	株主資本	6,907,317	7,142,694	235,376	3.4%
	その他の 包括利益累計額合計	155,246	233,071	77,824	50.1%
	純資産合計	7,062,564	7,375,765	313,200	4.4%
負債純資産合計		10,177,140	10,103,714	△73,426	△0.7%

## ●資産の部

- ・現金及び預金が6億27百万円減少
- ・受取手形及び売掛金が2億14百万円減少
- ・短期貸付金が10億00百万円増加
- ・固定資産が2億21百万円減少

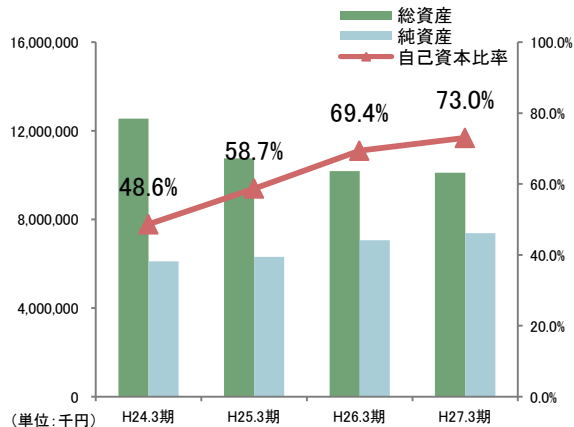
## ●負債の部

- ・支払手形及び買掛金が99百万円減少
- ・固定負債が5百万円増加

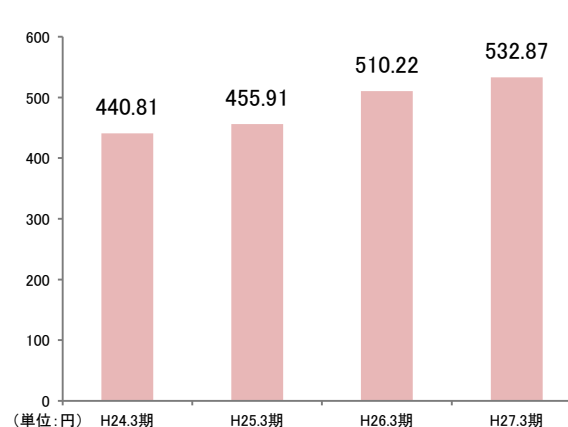
## ●純資産の部

- ・利益剰余金が2億35百万円増加
- ・自己資本比率が3.6ポイント上昇

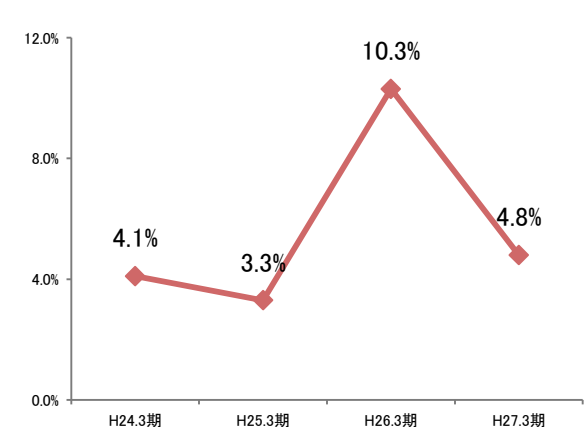
## 自己資本比率



## 1株当たり純資産



## 自己資本当期利益率(ROE)





(単位:千円)

	平成26年3月期		平成27年3月期		増減額	増減率
		売上比		売上比		
売上高	11,731,219	100.0%	10,186,899	100.0%	△1,544,319	△13.2%
売上原価	9,404,227	80.2%	8,016,998	78.7%	△1,387,228	△14.8%
売上総利益	2,326,992	19.8%	2,169,900	21.3%	△157,091	△6.8%
販売費及び一般管理費	1,586,241	13.5%	1,515,002	14.9%	△71,239	△4.5%
営業利益	740,751	6.3%	654,898	6.4%	△85,852	△11.6%
経常利益	803,992	6.9%	672,056	6.6%	547,085	△16.4%
当期純利益	686,696	5.9%	346,662	3.4%	479,409	△49.5%

### ●売上高

- ・一部の主要取引先における取扱数量が大幅に減少
- ・前年同期比13.2%減

### ●営業利益

- ・前年同期比11.6%減

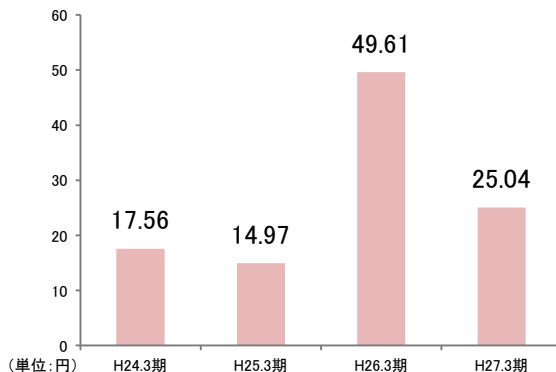
#### 【マイナス要因】

- ・コーヒー生豆相場の高騰及び為替相場の円安による製造コストの増加
- ・取扱数量減少に伴い固定費の負担割合が増加

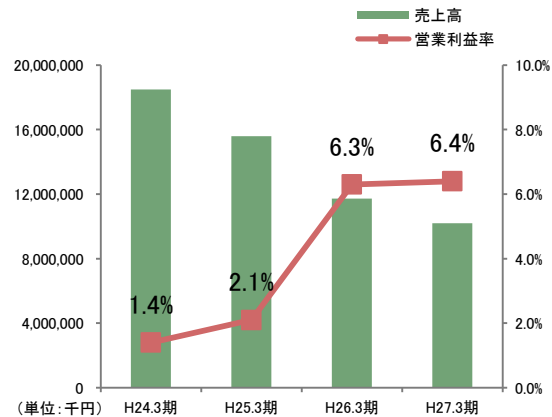
#### 【プラス要因】

- ・生産工程の効率化と販売費及び一般管理費の抑制に注力

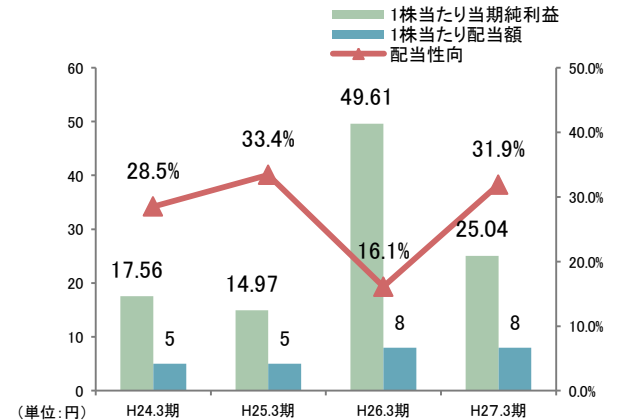
## 一株当たり当期純利益



## 営業利益率



## 配当性向



(単位:千円)

	平成26年3月期	平成27年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	△37,391	811,275	773,884
投資活動による キャッシュ・フロー	255,570	△337,168	△592,738
財務活動による キャッシュ・フロー	△78,068	△117,305	△39,236
現金及び現金同等物に 係る換算差額	16,966	15,378	△1,588
現金及び現金同等物の 増減額	157,076	372,179	215,103
現金及び現金同等物の 期首残高	1,954,906	2,111,983	157,076
現金及び現金同等物の 期末残高	2,111,983	2,484,163	372,179

●営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益	4億87百万円
売上債権の減少	2億16百万円
仕入債務の減少	1億00百万円
減価償却費	2億91百万円
貸倒引当金の増加	2億56百万円
たな卸資産の増加	17百万円
法人税等の支払額	1億86百万円

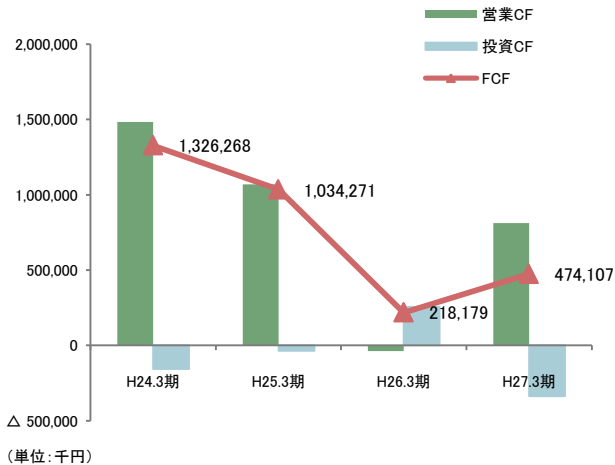
●投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得	4億87百万円
無形固定資産の取得	1百万円
投資有価証券の売却	1億52百万円

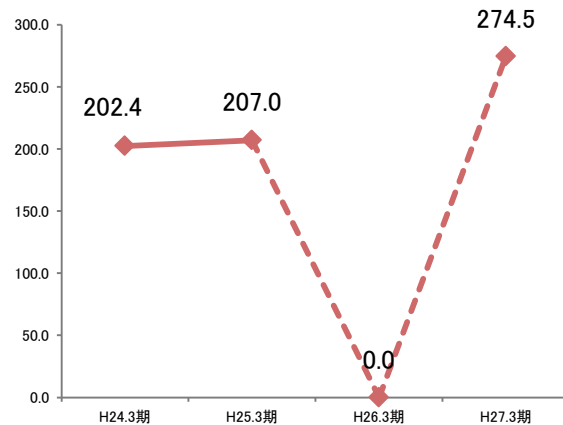
●財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額	1億10百万円
---------	---------

## 連結キャッシュ・フロー推移



## インタレスト・カバレッジ・レシオ

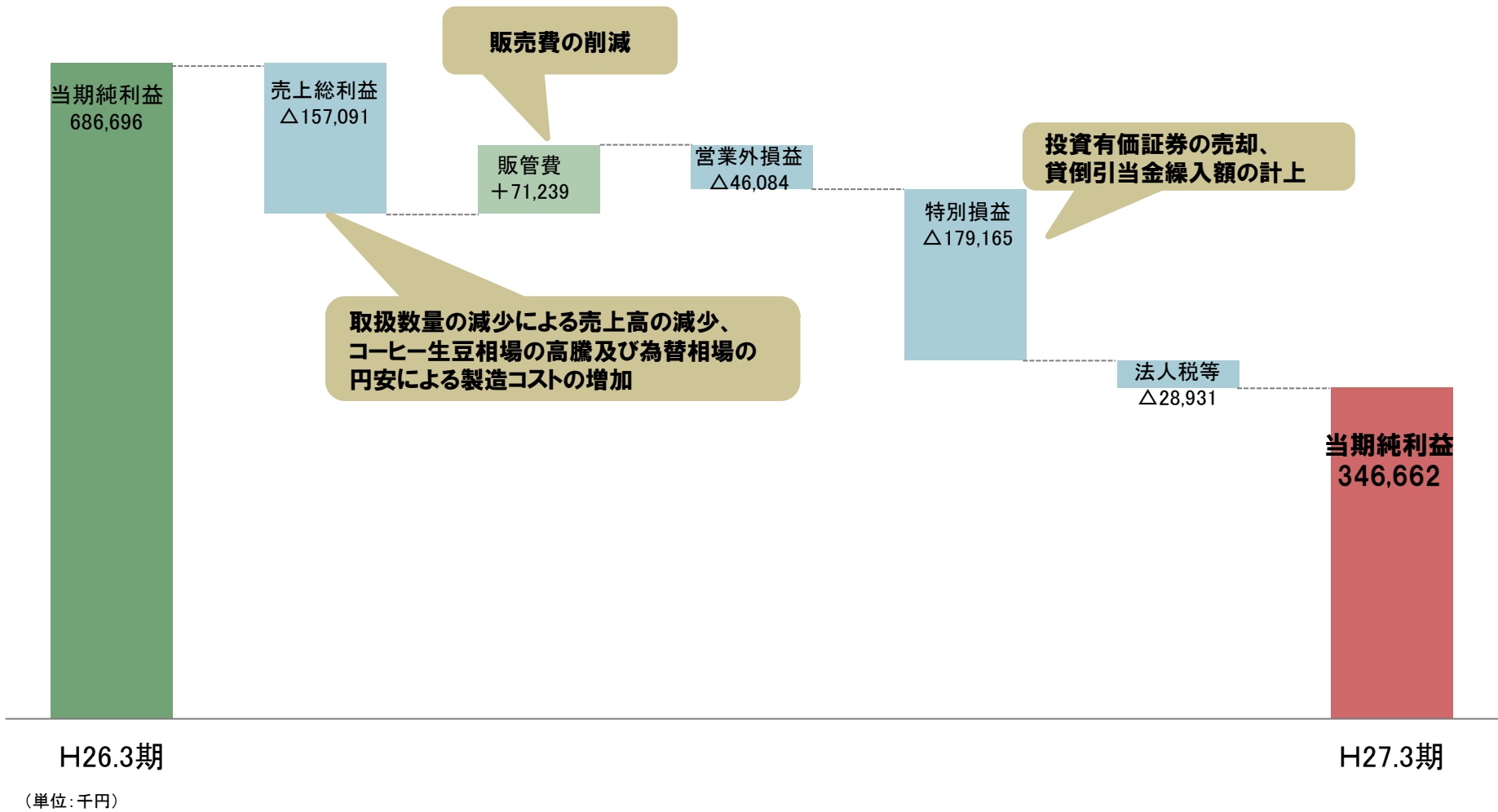




# III. 平成27年3月期 決算詳細



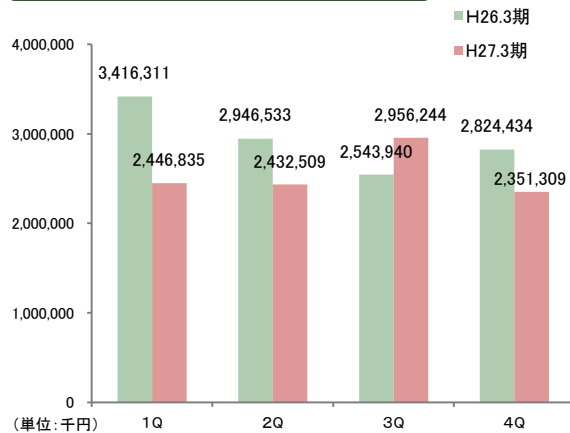
# 当期純利益増減要因



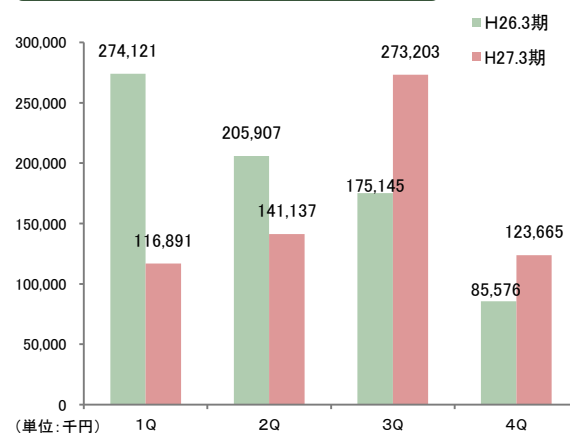
(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	上期		第3四半期	第4四半期	下期		平成27年3月期 通期	
				売上比				売上比		売上比
売上高	2,446,835	2,432,509	4,879,345	100.0%	2,956,244	2,351,309	5,307,554	100.0%	10,186,899	100.0%
売上原価	1,940,493	1,927,873	3,868,366	79.3%	2,301,098	1,847,533	4,148,632	78.2%	8,016,998	78.7%
売上総利益	506,342	504,635	1,010,978	20.7%	655,145	503,776	1,158,922	21.8%	2,169,900	21.3%
販売費及び 一般管理費	389,451	363,497	752,949	15.4%	381,941	380,111	762,053	14.4%	1,515,002	14.9%
営業利益	116,891	141,137	258,029	5.3%	273,203	123,665	396,869	7.5%	654,898	6.4%
経常利益	123,249	83,058	266,308	5.5%	274,764	130,983	405,747	7.6%	672,056	6.6%
当期純利益	179,827	130,232	310,059	6.4%	233,024	△196,421	36,602	0.7%	346,662	3.4%

## 売上高



## 営業利益



## 当期純利益



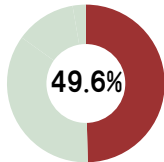
(単位:千円)

		平成26年3月期		平成27年3月期		増減額	増減率
			構成比		構成比		
売上高		11,731,219	100.0%	10,186,899	100.0%	△1,544,319	△13.2%
	工業用コーヒー	7,177,974	61.2%	5,054,500	49.6%	△2,123,446	△29.6%
	業務用コーヒー	2,930,054	25.0%	3,594,068	35.3%	664,013	22.7%
	家庭用コーヒー	1,406,595	12.0%	1,260,380	12.4%	△146,214	△10.4%
	パルプモールド事業	216,595	1.8%	277,950	2.7%	61,355	28.3%

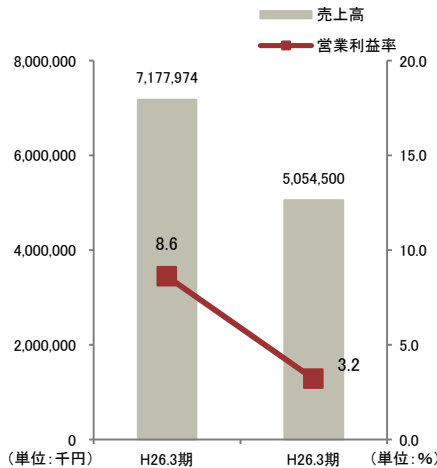
## 工業用コーヒー

- 一部の主要取引先における取扱数量が低調に推移

●売上高構成比



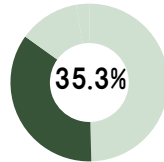
●売上高と営業利益率



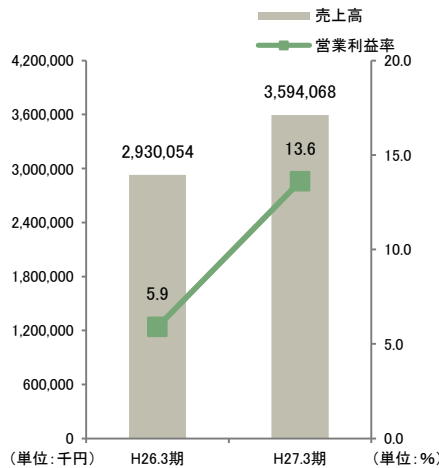
## 業務用コーヒー

- 主要取引先のカフェチェーンにおける取扱数量が好調
- UCCグループ間での取扱数量拡大

●売上高構成比



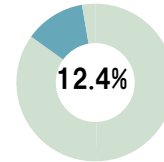
●売上高と営業利益率



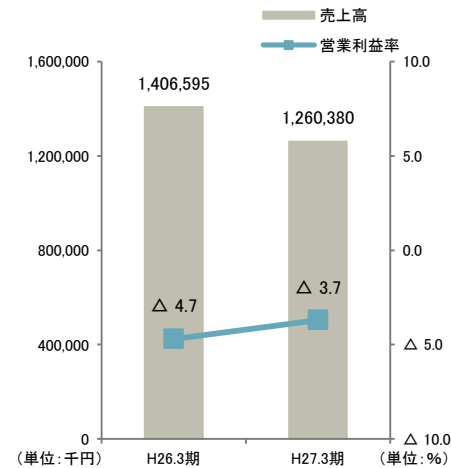
## 家庭用コーヒー

- NB・PB製品販売を中心に主要取引先における取扱数量が減少

●売上高構成比



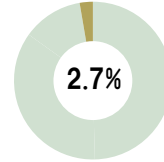
●売上高と営業利益率



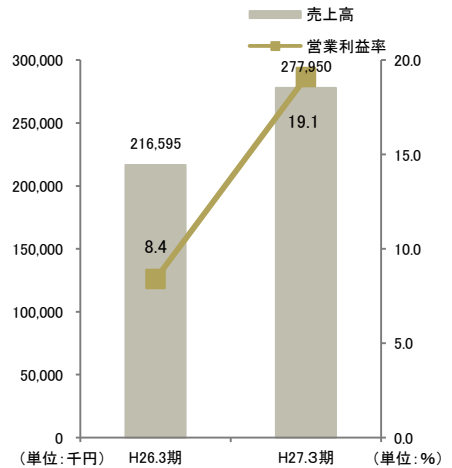
## パルプモールド事業

- 主要取引先の売上数量が好調に推移したことにより売上高増加

●売上高構成比



●売上高と営業利益率





## IV. 平成28年3月期の事業計画



## 事業環境

## ◆市場動向

- CVSのカウンターコーヒー、サードウェーブ・コーヒー、機能性重視のコーヒー等の新たなコーヒーブームによる飲用の裾野が拡大
- 一杯抽出型の伸長が継続
- デフレ脱却といった好転の兆しがあるものの、同業各社で長期間に渡る消耗戦が継続
- 消費者志向は節約型・低価格志向型が定着する一方で、郊外型カフェの隆盛で高級志向型も増加傾向にあり、二極化が進む

## ◆相場

- コーヒー生豆国際相場及び為替相場は引き続き不透明な値動き
- 燃料費に大きな影響を与える国際商品市況においても先行きの不透明感が強い

## 経営方針

## 【キーワード】

**T = Transformation(変革)**

**I = Innovation(革新)**

**C = Challenge(挑戦)**

## ◆営業部門

- 工業用事業の強化及び業務用事業の拡大
- コーヒーの新たな価値“Fun To Drink”の提案

## ◆生産部門

- 一杯抽出型の製造受託企業ナンバーワンになることを目指す
- 安全・安心・正確な製品のための品質保証体制の拡充

## ◆管理部門

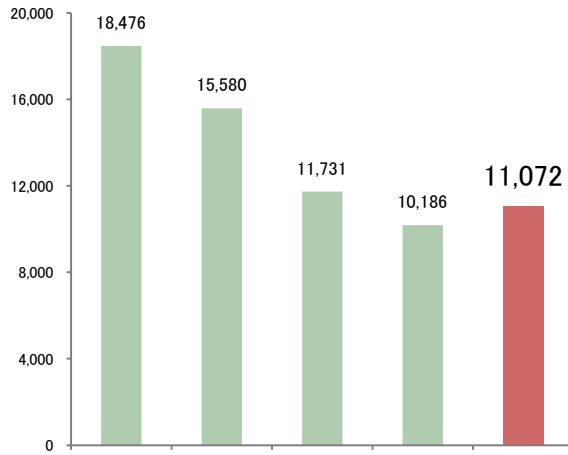
- 業務活動に関わる法令の網羅性を再確認
- コンプライアンスの徹底による内部統制の強化



(単位:百万円)

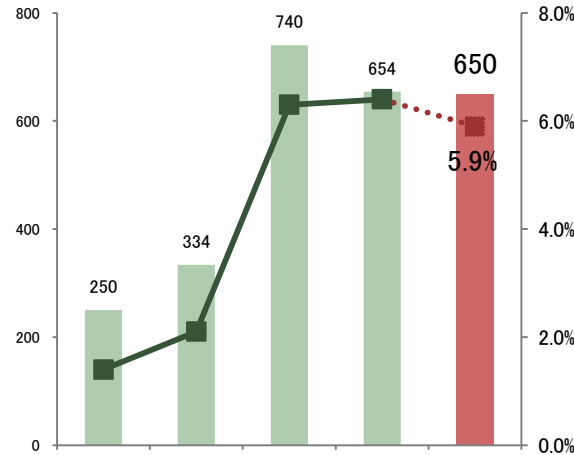
	平成27年3月期 実績		平成28年3月期 計画		増減額	増減率
		売上比		売上比		
売上高	10,186	100.0%	11,072	100.0%	885	8.7%
売上総利益	2,169	21.3%	2,184	18.7%	14	0.1%
営業利益	654	6.4%	650	5.9%	△4	△0.7%
経常利益	672	6.6%	669	6.0%	△2	△0.4%
当期純利益	346	3.4%	524	4.7%	177	51.2%

## 売上高



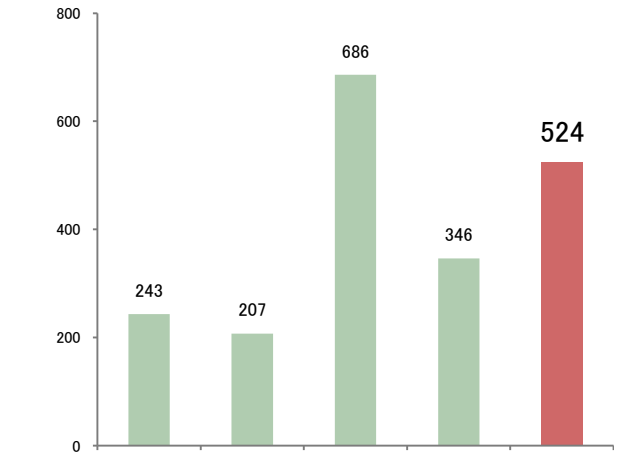
(単位:百万円)

## 営業利益と営業利益率



(単位:百万円)

## 当期純利益



(単位:百万円)

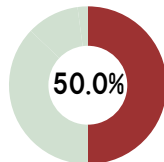
(単位:百万円)

	平成27年3月期		平成28年3月期		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	10,186	100.0%	11,072	100.0%	885	8.7%
工業用コーヒー	5,054	49.6%	5,538	50.0%	484	9.6%
業務用コーヒー	3,594	35.3%	4,111	37.1%	517	14.4%
家庭用コーヒー	1,260	12.4%	1,194	10.8%	△66	△5.3%
パルプモールド事業	277	2.7%	227	2.1%	△50	△18.0%

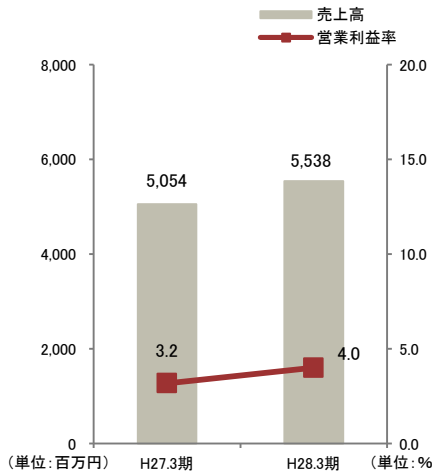
## 工業用コーヒー

- 提案力強化による収益構造の改善
- アライアンスを構築し、ビジネスモデル革新
- 新たな市場の開拓による取扱数量拡大

### ●売上高構成比



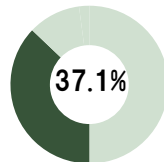
### ●売上高と営業利益率



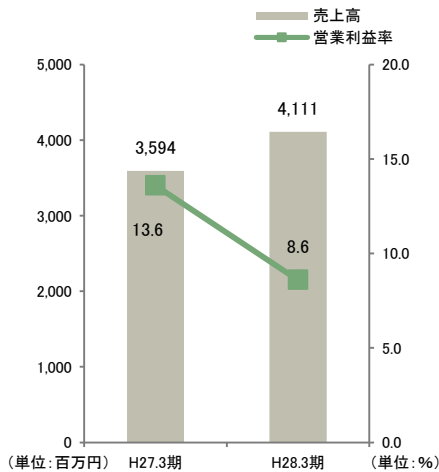
## 業務用コーヒー

- 外食大手企業、新興カフェチェーン等の新規取引先獲得
- 拡大するシングルサーブ(一杯抽出)事業への取り組み

### ●売上高構成比



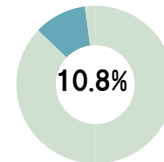
### ●売上高と営業利益率



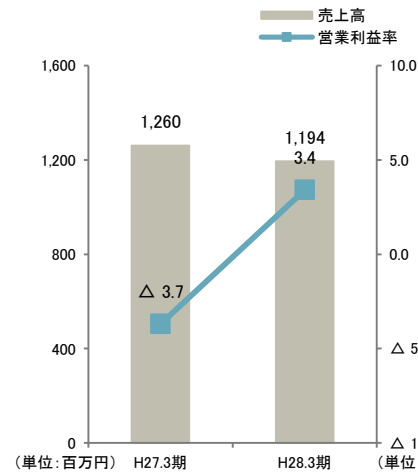
## 家庭用コーヒー

- PB製品の製造受託に軸を置く

### ●売上高構成比



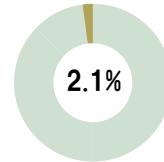
### ●売上高と営業利益率



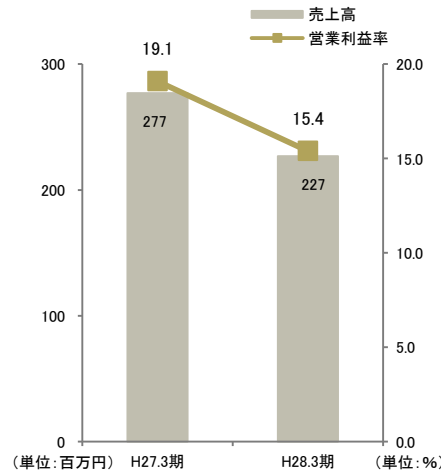
## パルプモールド事業

- 売上数量の減少
- 人件費等、製造コストの増額

### ●売上高構成比



### ●売上高と営業利益率



## 免責事項

本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社および当社グループの将来の業績と異なる可能性があります。

なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

## インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。

同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。